

「やや強い雨」で、すでに話し声がよく聞き取れないほどのね……



雨は、飲み水をはじめとする生活用水、工業用水に利用され、そして水稲や野菜などの作物を育てるなど、大切な役割を持っている。しかし雨が多過ぎると洪水などが起こり、時には人の命を奪うほどの大きな災害に結び付くこともある。



### 雨の強さと降り方

1時間雨量(mm)	用語	人の受けるイメージ	人への影響	屋内(木造住宅を想定)	屋外の様子
10以上20未満	やや強い雨	ザーザーと降る。	地面からの跳ね返りで足元がぬれる。	雨の音で話し声がよく聞き取れない。	地面一面に水たまりができる。
20以上30未満	強い雨	どしゃ降り。	傘をさしていてもぬれる。	寝ている人の半数くらいが雨に気が付く。	道路が川のようになる。
30以上50未満	激しい雨	バケツをひっくり返したように降る。	傘はまったく役に立たなくなる。		水しぶきで辺り一面が白っぽくなり、視界が悪くなる。
50以上80未満	非常に激しい雨	滝のように降る(ゴーゴーと降り続く)。			
80以上	猛烈な雨	息苦しくなるような圧迫感がある。恐怖を感じる。			

[https://www.jma.go.jp/jma/kishou/now/yougo\\_hp/amehyo.html](https://www.jma.go.jp/jma/kishou/now/yougo_hp/amehyo.html) より抜粋

天気予報は、正式には「府県天気予報」といい、各都道府県をいくつかに分けた1次細分区域単位で発表します。1次細分区域は、気象特性、災害特性と地理的特性により、都道府県を分割して設定しています。

分区域単位で発表します。2次細分区域は、市町村(東京特別区は区)を原則としますが、一部市町村を分割して設定している場合があります。

QRコードはスマホのカメラを起動させ、URLにアクセスして読み取れます



〈気象庁ホームページ〉  
気象警報・注意報や天気予報の発表区域

取材協力:気象庁 <https://www.jma.go.jp/>

## 気象警報・注意報や天気予報の発表区域

風は、台風の発生数が多くなる7~10月はもちろん、春一番から始まる春先の強風にも注意が必要です。強風害の例として農地の土壌が風によって搬出される「風食」が挙げられます。地域により時期や程度は異なりますが、3~5月ごろに注意が必要です。



### 風の強さと吹き方

用語	平均風速(m/s)	人への影響	屋外・樹木の様子
やや強い風	10以上15未満	風に向かって歩けにくくなる。傘が差せない。	樹木全体が揺れ始める。電線が揺れ始める。
強い風	15以上20未満	風に向かって歩けなくなり、転倒する人も出る。高所での作業は極めて危険。	電線が鳴り始める。看板やトタン板が外れ始める。
非常に強い風	20以上25未満	何かにつかまっていられないと立ってられない。飛来物によって負傷する恐れがある。	細い木の幹が折れたり、根の張っていない木が倒れ始める。看板が落下・飛散する。道路標識が傾く。
	25以上30未満		
猛烈な風	30以上35未満	屋外での行動は極めて危険。	多くの樹木が倒れる。電柱や街灯で倒れるものがある。ブロック壁で倒壊するものがある。
	35以上		

[https://www.jma.go.jp/jma/kishou/now/yougo\\_hp/kazehyo.html](https://www.jma.go.jp/jma/kishou/now/yougo_hp/kazehyo.html) より抜粋

今年の春の農繁期は雨空続きの天候不順で、代掻きや田植え作業の日程がずれ込んだ方も多かったのではないのでしょうか?田植えなどの定植作業も一段落して、これから収穫期に向けた適期栽培管理が重要となります。そのためにも天気予報は欠かせない情報。気象用語について改めておさらいしておきましょう。

気象予報士志望の農田協子です!一緒に気象用語を勉強しましょう。



翌日の天気予報だったら、予報期間は0時から24時までよね。とすると、一時というのは4分の1未満だから……、6時間未満の天気のことね



へえ、昼過ぎって15時までのことなのね!



## 知ってる? 気象用語

# 天気予報入門

テレビやラジオなどの天気予報で聞けけれど、はっきりした意味は分からない……。そんな天気予報に登場する気象用語について解説します。知っておけば天気予報の理解度が上がり、外出や農作業にもきっと役立ちます。

### 時間経過などを表す気象用語

のち	一時
予報期間内の前と後で現象が異なるとき、その変化を示すときに用いる。可能な限り具体的時間帯を示すが、時間帯が二つになるときは、「一方に「のち」を用いる。例えば「晴れのち曇り夕方から雨」とする。	晴れや曇り、雨などといった現象が連続的に起こり、その現象の発現時間が天気予報で発表された時間(予報期間)の4分の1未満のとき。
はじめ(のうち)	時々
予報期間の初めの4分の1、ないし3分の1くらい。週間天気予報では予報期間の初めの3分の1くらい。今日、明日、明後日に対する予報では、朝の9時くらいまで。今夜に対する予報では、19時くらいまでとなる。	晴れや曇り、雨などといった現象の発現が断続的に起こり、その現象時間の合計時間が発表された時間の2分の1未満のとき。



### その1 時間経過などを表す用語

天気は一日の中でも変化します。それを天気予報で表す場合、ポイントはその時間の長さです。どれだけの時間、晴れや曇り、雨などが現れるかで用語が使分けられます。

### その2 一日の時間細分の気象用語

一日の時間をどのような気象用語で区分しているかについても知っておくと便利です。普段私たちが何げなく使っていた言葉も気象用語に当てはめると案外ずれていることがあります。

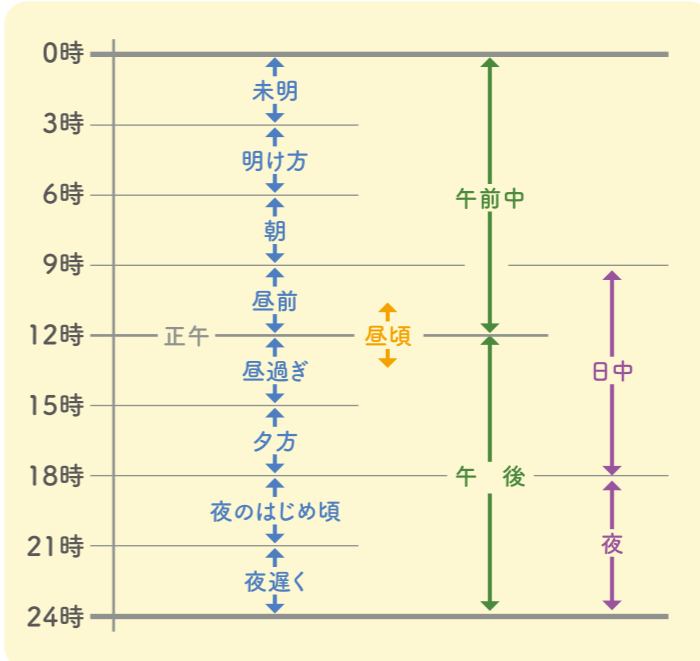


イラスト:ゆきたけし